

# 元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山 を目指して



東松山市長  
森田光一

令和8年度を始期とする「第六次東松山市総合計画」が完成しました。この計画では本市が元気で希望に満ちあふれ、人々のやさしさを感じることのできる住みよいまちとなることを目指し、まちの将来像に「元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山」を掲げました。

総合計画の計画期間(令和8年度～17年度)である今後10年間のまちづくりに対応した施策を推進します。

## 令和8年度予算案

予算総額 724億4,515万4千円(前年比3.2%増)



一般会計 389億7,000万円



特別会計 184億2,500万円

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療



企業会計 150億5,015万4千円

市民病院事業、水道事業、下水道事業

## 各分野の主な取組

### 柱1 こども

健やかに育ち、将来に希望を持って  
成長できるまち

- リフレッシュチケットのサービス内容の拡充
- こども家庭センターでの子育てに関する相談支援
- 学校の特別教室を活用したこどもの居場所づくり
- 小・中学校に配置した特別支援員によるきめ細やかな支援
- 中学校の学級編制基準の変更に伴う教室の改修



こども家庭センターでの相談対応

### 柱2 健康福祉

人とつながり、安心して自分らしく  
暮らせるまち

- 人材確保や施設整備により、市民病院の診療体制を充実
- 民生委員活動費の引き上げを実施
- 地域包括ケアシステムの推進
- 障害者の生活を支える体制づくりの推進



民生委員による訪問

### 柱3 環境

豊かな自然とともに、快適に暮らせるまち

- 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進
- 自然環境の保全活動に取り組む担い手の確保
- 「高齢者等家庭ごみ戸別収集」によるサービスの向上
- ごみ処理の広域化に向けた検討



高齢者等家庭ごみ戸別収集

### 柱4 生活基盤

安全性が向上し、安心して暮らせるまち

- 指定避難所となる小・中学校体育館への空調設置やトイレ改修等の実施
- 中心市街地の賑わいや活気の創出に向けた議論の促進
- 移動支援を必要とする高齢者等へのデマンドタクシー利用料金の割引実施
- 生活道路の計画的な整備と豪雨時の道路冠水対策の推進
- 上下水道事業の経営安定化や施設の耐震化等への対応
- 国や県と連携した都幾川の遊水地整備と九十九川・新江川の調節池整備
- 空き家に関する一括相談窓口の設置



都市計画道路「松高前通線」が開通

### 柱5 産業

ブランド力を強めとし、成長と発展が持続するまち

- 農業塾や農業研修等による新たな担い手の育成・確保
- 商工業者の経営基盤の安定化や創業支援に向けた補助制度の活用促進
- 利便性の高い交通網を生かした企業誘致の推進
- 来訪者の周遊性の向上による市内での消費拡大や関係人口の創出
- ふるさと納税制度を活用した知名度向上と自主財源の確保



「ひがしまつやまプライド」物産展での賑わい

### 柱6 市民活躍

協力と信頼で、心豊かにいきいきと暮らせるまち

- 自治会運営に係る担い手の負担軽減を通じた自治会加入率の向上支援
- 防犯や交通安全に関する意識啓発
- 市民が生きがいを持って学ぶことのできる生涯学習環境の整備
- 生涯を通じて誰もが楽しめるスポーツ活動の充実
- 市内で活躍するアーティストの活動や魅力に触れる機会の創出
- 全ての市民が互いに尊重し合い、自分らしく健やかに暮らせる社会の実現



文化芸術講座「はじめてのサクソ体験」

## 健全で効果的な行財政運営

- 歳入の確保と歳出の見直しによる安定的で持続性のある行財政運営
- 財政規模に応じた公共施設の総量最適化の推進
- デジタル技術を活用した市役所業務の効率化と市民サービスの向上



## まとめ

「第六次東松山市総合計画」に掲げた3つの重点テーマに関する取組を分野横断的に推進します。全ての市民の皆さんが希望を抱き、本市への誇りや愛着が醸成されるまちづくりを全力で進めます。



まちの活力の源となる地域経済や産業、観光の活性化に取り組む

市民の健康づくりや地域コミュニティの活性化、心の豊かさの醸成、ジュニアやシニアの活躍に取り組む

▼施政方針の全文は、市HPで見ることができます。



市HP

特集に関する問合せ  
政策推進課 ☎21-1411 ☎22-5516

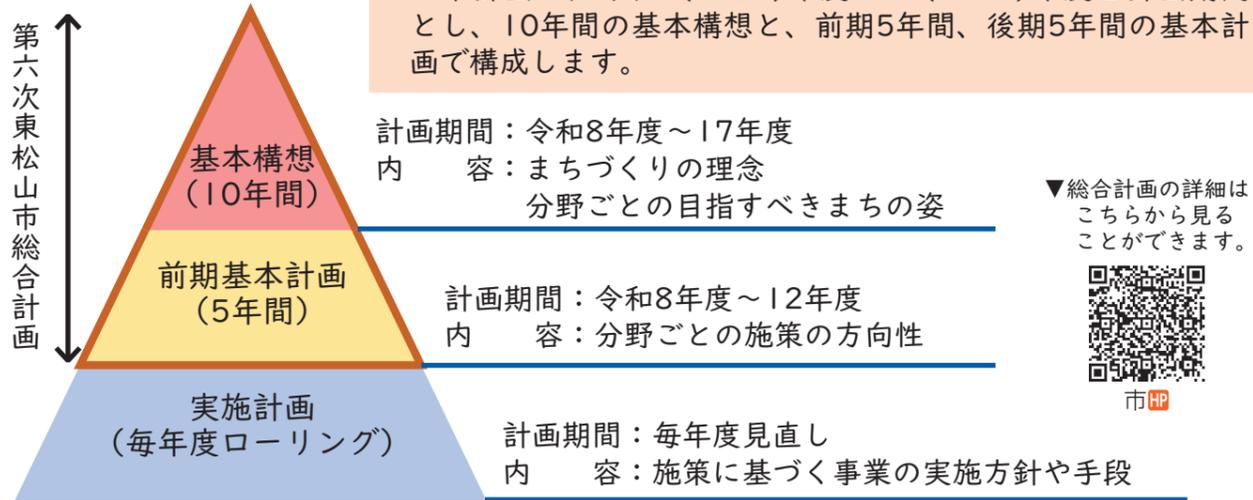
# 特集② 第六次東松山市総合計画

が4月から新たにスタートします！

## 総合計画とは…

自治体におけるまちづくりの指針となる計画で、将来目指すべきまちの姿を示すとともに、各分野の施策の方向性を定めた、市の最上位計画に位置づけられるものです。

## 計画の構成



## 計画の策定にあたって

幅広い意見を反映した計画とするため、市民や関係する方々からたくさんの意見を伺いました。

### 市民意識調査

市政に対する市民意識や要望を把握し、まちづくりの基礎資料として活用するため市民2,000人を対象にアンケート調査を実施。

### シビック・オピニオン・リサーチ

まちづくりに対する評価等を把握し、まちづくりの方向性を検討するため、全市民を対象にオンライン形式でアンケート調査を実施。

### 未来を担う若者との座談会

まちの「賑わい」や本市の「強み・弱み」について意見を伺うため、市内8校の中学生・高校生との座談会を実施。

### 市民ワークショップ

まちづくりに対する市民のアイデアを把握するため、政策提案ゲームを活用した市民同士の話し合いを実施。

### 地区座談会

市内全7地区を対象にこれまでの取組に対する評価や第六次総合計画の策定に向けた本市の課題等について地域の方々との話し合いを実施。

### 子育て世帯ヒアリング

子育て世帯の移住・定住に向けた取組を検討するため、子育て支援センターソレ・マーレを訪問し、利用者からの意見聴取を実施。

空き家や空き地対策を推進してほしい。



東松山駅周辺や商店街の活性化を進めてほしい。

避難所機能の充実や防災対策を強化してほしい。

## ご意見の一例

若い人も一緒に参加できるコミュニティづくりを推進してほしい。

## まちの将来像

これまでの第五次総合計画で積み重ねてきたまちづくりの成果を継承しつつ、人と人とのつながりを大切に、10年後も住み続けたいまちづくりを目指して、次の将来像を掲げました。

## 元気と希望と歩むまち

## 住みよさ やさしさ 東松山

### 元気

- ◆市民の健康増進
- ◆中心市街地の賑わい創出
- ◆観光客の増加
- ◆地域産業の活性化
- ◆移住・定住の促進

### 希望

- ◆子育て環境の充実
- ◆豊かなシニアライフ
- ◆市民が孤立しない社会
- ◆社会で活躍する人材が育つ
- ◆充実した教育環境

### 歩むまち

- ◆ウォーキングのまち
- ◆市民が健康であり続けること
- ◆元気で希望を抱きながら未来へ歩むこと

### 住みよさ

- ◆整った都市機能
- ◆利便性の高い交通網
- ◆防災力が高いこと
- ◆豊かな自然環境
- ◆防犯力が高いこと

### やさしさ

- ◆人と人とのつながり
- ◆地域住民同士が笑顔であいさつできる関係性
- ◆互いを尊重し、共に地域社会を支えていくこと



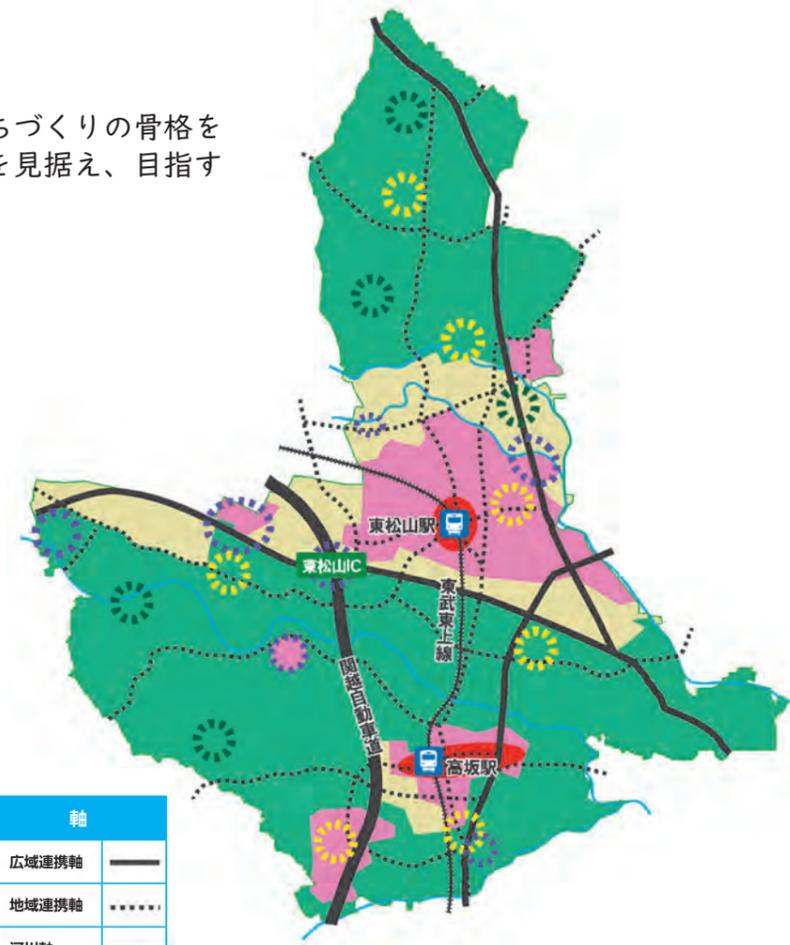
## 将来都市構造

将来像の実現を目指すとともに、まちづくりの骨格を示すため、本市の特徴と将来への展望を見据え、目指すべき都市の姿を表します。

### 将来都市構造の基本的な考え方

1. 東松山駅周辺を「まちの核」、高坂駅周辺を「まちの副次核」
2. 市街化区域を「市街地ゾーン」
3. 市街化区域に接する市街化調整区域を「緑住ゾーン」
4. 「緑住ゾーン」を除く市街化調整区域を「田園ゾーン」
5. 特徴的な都市の機能等を担う地域を「拠点」
6. 「核」や「拠点」の連携や広域的なアクセス等において重要な役割を担う道路や河川を「軸」

核	ゾーン	拠点	軸
まちの核 まちの副次核	市街地ゾーン	地域の拠点	広域連携軸
	緑住ゾーン	みどりの拠点	地域連携軸
	田園ゾーン	産業の拠点	河川軸



## 6つのまちづくりの柱と3つの重点テーマ

将来像を実現するため、6つのまちづくりの柱(分野)を設定し、目指すべきまちの姿を定めました。また、市民意識調査や若者との座談会等で伺った市民の想いや現状を踏まえ、本市の発展に必要な要素を重点テーマに設定しました。3つの重点テーマを相互に連携させながら、分野横断的に取組を推進します。

【まちの将来像】

元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山

こども 健やかに育ち、将来に希望を持って成長できるまち

健康福祉 人とつながり、安心して自分らしく暮らせるまち

環境 豊かな自然とともに、快適に暮らせるまち

生活基盤 安全性が向上し、安心して暮らせるまち

産業 ブランド力を強みとし、成長と発展が持続するまち

市民活躍 協力と信頼で、心豊かにいきいきと暮らせるまち

### 強靱・快適

- 公共施設・都市基盤の再生
- まちの防災力の向上
- 地域公共交通の充実 etc

### 賑わい・活力

- 中心市街地の活性化
- 産業の地域経済循環
- 空き家・空き地対策 etc

### 健やか・生きがい

- 子育て・医療の充実
- シビックプライドの醸成
- ジュニア・シニアの活躍促進 etc

### 重点テーマ

#### DX(デジタルトランスフォーメーション)推進

- デジタル格差の解消
- ICT教育の推進
- 生成AIの活用 etc

## 3つの重点テーマに対する取組の方向性

### 強靱・快適



適正な財政運営に取り組みながら、市民の暮らしに直結するまちの安全性や快適性、利便性を確保します。

### 賑わい・活力



利便性の高い交通網や豊かな自然に恵まれた生活環境など、本市の魅力や優位性を積極的にPRし、まちの活力の源となる地域経済や産業、観光を活性化します。

### 健やか・生きがい



- ・市民の健康水準を維持・向上させるとともに、地域コミュニティの活性化を進めます。
- ・文化や芸術など心を豊かにする取組を充実させ、シビックプライド(※)の醸成を図ります。
- ・子どもや高齢者が安心して生活し、活躍できる環境を整えます。

#### ※シビックプライド

地域に対する市民の誇りや愛着を表現する概念であり、市民が様々なことに関与しながら地域をより良くするための意識を持つこと。株式会社読売広告社の登録商標。

## 健全で効果的な行財政運営

各分野の施策を進めていくため、健全で効果的な行財政運営に関する7つの取組を掲げています。

- ① 財政基盤の強化と効果的な予算執行
- ② 公共施設マネジメントの推進
- ③ 広報・広聴の充実
- ④ 窓口手続の利便性向上
- ⑤ 適正な賦課・徴収の実施
- ⑥ 担い手確保と効率的な公共調達
- ⑦ 適切な人事管理と人材育成

## 市長あいさつ

我が国は、人口減少や少子化・高齢化の進行、頻発化する豪雨災害や大規模地震への備え、老朽化する公共インフラへの対応、物価上昇がもたらす日常生活への影響など、多くの課題と向き合う時代を迎えています。また、本市を含め、多くの自治体で財政的な制約が高まり、厳しい行財政運営に取り組まなければならない状況が生まれています。

この度策定した本市の新たな最上位計画「第六次東松山市総合計画」は、こうした時代の中で、希望を抱くことのできる「将来の東松山市の姿」を描くための指針となるものです。第六次総合計画に掲げた施策が「愛する郷土・東松山市」のまちづくりを進めていくための力強い原動力となることを期待しております。

未来の東松山市が元気と希望に満ちあふれ、やさしさに包まれた住みよいまちとなるよう、引き続き全力で市政運営に取り組んでまいりますので、本計画に掲げた施策の遂行に向け、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月

東松山市長 森田光一

特集に関する問合せ 政策推進課 ☎21-1411 ☎22-5516